

まちスポとやま 多世代交流講座 総曲輪レガートスクエア官民連携事業

まちなかサロンの夏休み

まちなかサロンの利用者が講師となり、小学生親子を対象に4つのプログラムを開催しました。

インタビュー体験 コロナのこと、聞いてみよう

日時:8月3日(火)10:00~12:00
 講師:種市尋宙先生(富大附属病院小児科医師) 参加者:3名 見学:2名

新型コロナウイルス感染症について、普段から疑問に思うことを実際にコロナに罹った子どもたちを診療する先生に直撃。「普通の風邪とどう違うの?」「ワクチンってどうやって作るの?」などの質問に丁寧に答えてもらいました。先生からは「学校生活で不安なことはないか」と聞かれるなど貴重な交流の機会になりました。



聞き書き体験 聞き書きにチャレンジ!

日時:8月7日(土)10:00~12:00
 講師:聞き書きカフェとやま 参加者:6名 見学:4名

聞き書きが初めてという子どもたちが、前回の東京オリンピックを10歳で経験された女性から当時の思い出、夏休みの宿題や遊び、自然の中で育った子ども時代の経験などのお話を聞き、文章や絵でまとめました。全員の聞き書き作品は、その場で製本作業をして、一冊の本に。贈られた語り手はとても喜んでおられました。



生け花体験 花器をつくって、花をかざろう

日時:8月5日(木)13:30~15:00
 講師:菅原瑛天先生(華道家) 参加者:19名 見学:16名

紙製のランチバッグに画用紙や結束バンドなど思い思いの材料を選んで、切ったり、貼ったり、結びつけたりして世界に一つの花器を製作しました。オアシスを入れて本物の花を飾る際一段と目を輝かせていた子どもたちと、「日常に花を取り入れて、うるおいのある生活を送ってほしい」という先生のお話印象的でした。



書道体験 みんなで書道を楽しもう

日時:8月10日(火)10:00~12:00
 講師:土肥栄扇先生(書道家) 参加者:18名 見学:15名

暑い夏は涼しいお部屋で全集中! 夏休みの応募作品を中心に、書道に挑戦する時間になりました。この日初めて筆を持った子、教室に通っていて書道が大好きという子と参加者はさまざまでしたが、自由な字や違う学年の作品に挑戦するなど意欲あふれる子どもたちからは帰りに、書道を習ってみたいとなったという声も聞こえました。



まちスポの窓 コーナー

- 草むしりは哲学だ 新穀
- 娘(1歳10か月)のあかちゃんまん愛がハンパない(家の中グッズだらけ) 田辺
- 飛騨桃の美味しい季節! 桃パフェのおすすめのお店 教えてください! (#^^#) 新藤

8月のホームページ更新

http://machispo.org

- 8月まちスポ飛騨高山イベント情報 http://machispo.org/2021-8ib/
- 9月まちスポ飛騨高山イベント情報 http://machispo.org/2021-9event/
- 2020年度年次報告書及び決算書の公開 http://machispo.org/2020nennzi/
- へっちゃんら講座オンライン開催変更のお知らせ http://machispo.org/hecchara2021hennkou/

さるぼぼコイン クレジットでの 賛助会員入会が 可能になりました!

詳しくはこちらをご覧ください! http://machispo.org/donation

活動を応援して下さる方を募集しています。

- 個人年会費 1口 ¥3,000
- 法人年会費 1口 ¥5,000

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
 飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
 高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

まちスポ飛騨高山 イベントレポート

心と体のメンテナンス

主催:ClaiRe 開催日:8月1日(日) 参加者:10名

暑い夏、マスクをつけた生活で荒れてしまったお肌や心を整える「美と健康の体験会」が開催されました。レイキヒーリングやタロットセラピーなども盛り込まれたClaiReの癒しのイベント。次回も楽しみです。

不要タッパー回収

主催:飛騨ゼロウェイストプロジェクト 開催日:8月4日(水) 寄贈者:3名

テイクアウトのお店が増える中で心配されているプラスチックごみの増加。まずは1回行動してみよう!と「不要タッパー・弁当箱回収」を行い、約20個の容器が集まりました。回収した容器はテイクアウト用の容器に生まれ変わります!

コンポスト情報交換会

主催:飛騨ゼロウェイストプロジェクト 開催日:8月5日(木) 参加者:12名

コンポストの事をもっと詳しく学ぼうと開催された情報交換会。高山市内の企業や行政の方も参加されコンポストの事だけではなく、ごみ問題や環境問題について意見交換がされていました。詳しくはまちスポFacebookページをご覧ください。

https://www.facebook.com/345663232196212/posts/4224679780961185/



シニアカレッジ

主催:やってみよう展実行委員会 開催日:8月11日(水・祝) 参加者:4名

様々な大きさに切り分けられた飛騨の広葉樹を使い、パズルのように組み上げて作るオリジナルプレート作りが開催されました。和気あいあいとお話も盛り上がりながら素敵な作品が出来上がっていました。次回のシニアカレッジはGパンをリメイクしたオリジナルバック作成です。



ほっとする介護談話室(家族介護者相談室事業)

主催:認定NPO法人まちづくりスポット 開催日/参加者:8月10日(火)/6名、20日(金)/3名

青い暖簾が目印の介護談話室の開催日には、家族や身近な人への介護生活の悩みや相談が寄せられます。お一人で抱えていた思いをお話できる大切な場として、これからも毎月10日・20日に開催してまいります。

高齢者あんしんセンター

主催:高齢者あんしんセンター 開催日:毎週月曜8月2日、9日、16日、23日 参加者:合計21名

新しくまちスポ飛騨高山利用会員に登録された「高齢者あんしんセンター」が初の相談会を開催。高齢者の皆さまの心配ごとを気軽に相談できる場として、今後も継続的に開催されますのでお気軽にご参加下さい。

このゆびとまれ まちづくりの推進に関わる事業

主催:NPO法人まちづくりスポット 協力:わいわい農園 開催日:2021年8月25日(水)14:00~15:30 参加者:7名



飛騨地域の「寄付文化醸成」を目指して、新事業「飛騨コミュニティ財団(仮称)」の立ち上げに向けて準備中です。まずはまちスポを知っていただくきっかけとして、このゆびとまれ企画「まこもスイーツの試食会」を行いました。今回の新事業のテーマ「寄付」に合わせて、参加費は「お気持ちを投げ銭いただく寄付形式」にしました。まこもを無農薬栽培している飛騨の農園さんから、まこもの効能等を伺いながら、まこも茶&まこもスイーツを味わいました。

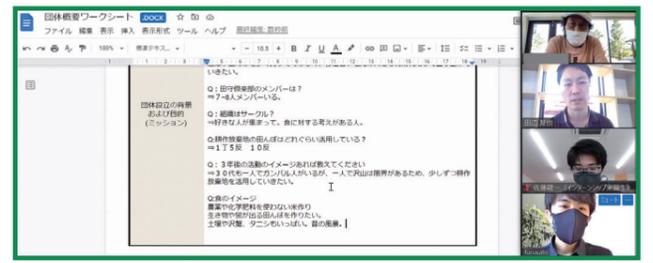
まちスポ飛騨高山 2021年度助成金申請へっちゃんら講座スタート

(人材育成及び研修に係る事業)

開催日:2021年8月27日(金)
 講師:グラスルーツアカウンティングファーム 古里 圭史氏

「事業計画の立て方編」

「助成金を受けてどう変わる?」「予算をたてるのが苦手」「プレゼン力を付けたい」など考えている市民活動団体等に向け助成金申請のための項目を3回に分け開催。今年度は6団体が参加しています。第1回の「事業計画の立て方編」はオ



ンライン開催でしたが、参加者からは「思いを書き出すことで理解が深まった」「目的と手段の整理が大切」等の感想が集まりました。9月29日は「お金の考え方編」10月11日は「伝え方編」を開催します。

自分時間を
たのしむ

オンラインってどうやるの?

まちスポとやま

令和3年 富山市元気プログラム運営事業 (コンシェルジュ事業)

開催日/参加者:7月21日(水)10:00~/10名、13:00~/10名
開催日/参加者:8月19日(木)10:00~/3名、13:00~/5名

新型コロナウイルス感染症の流行を機に世の中のオンライン化が急速に進んでいます。オンラインイベントやオンライン申請など、自宅にしながらできることが増える一方で、「ついていけなくて寂しい」という声を聞くようになりました。このイベントは、そんな”今更聞けないオンラインのアレコレ”が学べる講座です。企画運営ではデジタルネイティブ世代である大学生も携っています。シニア世代が何を求めているのか、次世代を担う若者が考えるきっかけになればという思いからです。7月は教室形式で、8月は感染拡大の



状況を踏まえてオンラインで開催しました。実施当日、参加者の方々はみんなで応援し合ってzoomの操作に挑戦したり、成功したらみんなで喜び合ったりと、オンライン上での会話を楽しんでいました。

(インターン生 平井真琴)

カラフル 空満まつり

主催者のコミュニティcafe空満・坪坂さんは「まず知ってもらいたい。そして、賛同いただける方がいたら是非この活動と一緒に盛り上げて様々な問題を解決できたら嬉しい。」という思いを持っておられました。



地域全体で「やさしさ」の連鎖と、つながりの輪を広げていけるように今後も活動をサポートさせていただきます。

(インターン生 伊東奈桜)



まちスポとやま × フードロス 子ども食堂

日時:8月8日(日) 10:00~20:00
場所:総曲輪レガートスクエア
主催:コミュニティcafe空満
共催:認定NPO法人まちづくりスポット まちスポとやま
後援:富山県 チューリップテレビ 富山新聞
参加者:600名

「子ども食堂、フードドライブって何?」これらの活動を知らない方に少しでも活動内容を知っていただくことを目的として「子ども食堂×フードロス 空満まつり」は開催されました。

子ども食堂は「たくさんの方がつながる拠点」となることを、フードドライブは家庭で余っている食品を集め、それらが必要としている団体に寄付し「フードロスを減らす」ことを目的としています。

コロナ禍で、お家時間が増えたことにより家庭環境に起因した問題が注目されるようになりました。また、対面活動に規制がかかり人とのつながりが薄くなり、IT化も地域のコミュニティの希薄化をすすめています。こんな時代だからこそ、これらの活動を必要とされる方は多いのではないのでしょうか。

ご連絡はこちらまで



▼まちスポ飛騨高山

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスポ飛騨高山内)
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

▼まちスポとやま

〒930-0083 富山県富山市総曲輪4丁目4-3(総曲輪レガートスクエア内)
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org

活動のきっかけ 私自身が、「町全体で子育てをしよう」といった雰囲気環境で育ち、かつそこに心地よさを感じていたため、将来「地元密着型」「地方創生」を掲げる場所で働きたいと考え、エントリーしました。

活動を経ての感想 まちスポだけでは成り立たない活動であるからこそ、企業や行政、地域との強い支え合いによって存在している団体だと思いました。例えば、私がインターンに参加した期間、小学生に向けたまちスポ主催のイベントが沢山開催されました。その中で、講師の先生をはじめとする外部の方の協力と、事前の綿密な打ち合わせがあったからこそ開催ができたのだと感じました。インターンが終了しても、まちスポの活動には何らかの形で関わっていかれたらと思っています。



インターン
1

いとう なお
伊東奈桜

富山大学人文学部人文学科 大学2年生
出身地:岐阜県不破郡垂井町
活動期間:2021年8月4日(水)~10日(火)

インターンシップの受入れ

人材育成及び研修に係る事業

「地域との繋がりづくりや地域づくりを担う若者の育成としてインターンシップの受け入れを行っています。8月は3名の学生を受け入れしました。」

活動のきっかけ 昨年度、富山市元気プログラムにお手伝いで参加をし、いろいろな人と関わることで、いろいろな人とのつながりのきっかけを用意してくれるNPO法人に興味をわきインターンシップに参加しました。

活動を経ての感想 新型コロナウイルスの流行で、イベント準備等のお手伝いが出来なかったことは残念でしたが、その代わりにNPOで働く方々にヒアリングをさせていただき、その内容をnoteに載せ記事にするという貴重な経験をさせていただきました。人の話を聞いて、自分なりに咀嚼して文章にすることが大変ではありましたが、楽しかったです。まちスポのnoteを見てインタビューに協力してくれる方がもし現れたらぜひインタビューさせていただきたいです。

<https://note.com/20121101>



インターン
2

ひらい まこと
平井真琴

富山大学都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科 大学3年生
出身地:栃木県宇都宮市
活動期間:2021年8月18日(水)~24日(火)

活動のきっかけ 大学のある高岡で地元のまちおこしグループに参加し、地方創生やまちづくりという社会課題に対する活動への関心を持ち参加しました。

活動を経ての感想 まちスポとやまは、とても雰囲気柔らかく、互いを理解して支えあっている場所であると感じました。施設利用等で立ち寄る方々も緊張せず笑顔で事務所に入ってこられていたことを感じ、その理由はスタッフの皆さんの温かさ故なんだな、と思いました。これまで経験してきた全体の業務を通して、まちスポやNPO法人というものは、「人」が基本であり、その「人」の思いや繋がりが大事なもので、それを大切にしている場所であると分かりました。6日間楽しく実習できました。



インターン
3

さとう りゅういち
佐藤龍一

高岡法科大学法学部法学科 大学3年生
出身地:大阪府大阪市(生まれは富山県)
活動期間:2021年8月25日(水)~31日(火)